令和６年(2024 年)2月 19 日

# 令和5年度　北海道帯広盲学校　学校評価報告

令和5年度の学校評価(教職員自己評価と保護者アンケート)の結果(概要)を報告します。
全ての項目・質問の結果はホームページにて公開しております。ご覧ください。
http://www.obihiro-sb.hokkaido-c.ed.jp/

## 1　令和5年度の重点教育目標

考える力、人とかかわる力、行動する力を育てる

## 2　「資質・能力の育成」に関して

（1）教職員自己評価の結果

「相手に対する思いやりの心」で低評価が1割ほどありました。その他は9割以上が高評価で、「意欲的に学校に通っている」「自分でできることが増えた」は特に高評価となりました。

（2）　保護者アンケートの結果

「知識の増加」「体力や身体操作の向上」「理解力の向上」は全て高評価でした。「相手に対する思いやりの心」「挨拶や礼儀正しさ」は低評価が複数ありました。

（3）　改善に向けて

10 の質問に関して、子どもたちの資質・能力は期待どおり向上しているようです。「人とかかわる力」に関する指導を充実させ、学校と家庭で評価を共有していく必要があります。

## 3　「情報発信」に関して

（1）教職員自己評価の結果

「学級・学部通信」「ホームページ」「一斉メール送信」は全て高評価でした。「コミュニティ・スクール」の取組は低評価が2割程度ありました。

（2）　保護者アンケートの結果

「学級・学部通信」「子どもの事での相談しやすさ」は全て高評価でした。「一斉メール送信」「SNS の有効性」は低評価が複数ありました。

（3）　改善に向けて

相談のしやすい学校づくりを継続します。情報発信については、関係者向け、地域向け

のいずれも充実させる必要があります。コミュニティ・スクールの取組や SNS の活用について、必要性や有効性の説明が必要です。

## 4 「いじめ防止」に関して

（1）教職員自己評価の結果

「保護者にとって、いじめに関して相談しやすい場所か」は低評価が1件、その他は全て高評価でした。

（2） 保護者アンケートの結果

「保護者にとって、いじめに関して相談しやすい場所か」「いじめに関する情報提供」はそれぞれ低評価が1件ありました。

（3） 改善に向けて

現在の認知件数は0件ですが、相談のしやすい学校づくり、相談窓口の周知、予防教育に努めます。

## 5 「教職員の働き方改革」に関して

（1）教職員自己評価の結果

複数の低評価があり、特に「学校行事の数や内容の見直し」は低評価が半数、「縮小すべき教育活動以外の業務」は低評価が3割という結果でした。

（2） 保護者アンケートの結果

「教育活動以外の業務を縮小する取組は十分」は全て高評価でした。他は低評価が複数あり、「学校行事の数や内容の見直し」は低評価が多くありました。

（3） 改善に向けて

対策はほぼ尽くされていると考えられます。しかし、実施している取組について校内外に周知・評価は必要です。

## 6 「学校環境（安全・協働・魅力）」に関して

（1）教職員自己評価の結果

「食育、安全教育、健康教育」「校務分掌業務の効率化・促進化」は全て高評価、その他は複数の低評価がありました。

（2） 保護者アンケートの結果

全て高評価でした。

（3） 改善に向けて

今後も安全・安心で、幼児児童生徒、教職員、学校関係者に魅力的な学校づくりの取組を継続していく必要があります。